



◆◆ 本年度会長方針 ◆◆

「和のこころをつなげよう」

例会日/毎週月曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場/広島サンプラザ TEL (082) 278-5000
 会長/久保田 幸恵 幹事/松野 正信

事務局

〒738-0015 広島県廿日市市本町5番1号
 廿日市市商工保健会館4F
 TEL (0829) 31-5490 FAX (0829) 31-5491
 E-mail / office20@h-hrc.com
 URL / http://www.h-hrc.com/

第788回 広島サンプラザ 2013年9月2日

会長時間

新世代のための月間

会長 久保田 幸恵

9月は新世代のための月間です。ロータリーの友2012年9月号に都城北RCの新森ロータリアンの(財)都城地区ロータリークラブ教育振興基金の記事が目にとまりました。投稿記事は、青少年育成事業として高校生への奨学制度で、1979年4月に基金を設立し発足。

毎年各学校2人の奨学生に、月額8,000円で返済義務がない2年間の奨学金で大変喜ばれていますという内容です。

なぜこの記事を取り上げたかと申しますと私も奨学制度の財団の理事長を務めています。

どのような財団かと申しますと、父が平成4年3月に私財の一部を奨学資金とし「財団法人忍和育英会」という経済的に恵まれない優秀な学生の学資金を援助するため設立した財団です。

毎年不定数の短大・大学生の奨学生に、月額10,000円で返済義務はありません。

現在までの、奨学金を受けた学生は138人、最初の奨学生は、そろそろ40代を迎える人もいます。

財団に20年かかわっていて感じることは、この



10年で家族構成が随分変化してきたことです。一番多いのは幼い子どもを連れての離婚です。そして親族の精神的病、父親のリストラと現在社会の縮図です。そのような厳しい家庭環境にもめがず学生たちは、社会に飛び出す準備をしています。

財団から支給される一年間12万円の奨学金が、生活苦の学生に一時でも微笑みを与えてくれたら、そして縁あって「忍和育英会」の支援を受けた皆さんが良き人生をおくられることを望みます。新世代の皆さま頑張ってください。

卓 話

協会けんぽの財政問題について

全国健康保険協会広島支部長 向井 一誠 様

協会けんぽの規模は3,490万人で国民の3.6人に1人が加入しており、健康保険組合を作ることができない中小企業・小規模企業が多く、160万事業所の3/4以上が従業員9人以下です。広島支部は加入者約101万人で、4.3千事業所で構成されています。先日協会けんぽの24年度決算が発表されました。収入が8.5兆円、支出8.2兆円で0.3兆円の黒字となりました。これにより協会けんぽの財政は健全化され問題がなくなったととらえる向きもありますが、実情は全く違うのです。これで準備金残高は0.5兆円となりましたが、法定準備金が0.6兆円(医療費等1ヵ月分)必要なのでまだまだ安心できるレベルではありません。漸く法律の特例措置(25年度及び26年度法定準備金を取り崩す)を実行せずに済まされるぎりぎりのところまできたのにすぎないのです。こうしたことから、現在協会けんぽが要請している「当面講ずべき措置」





は継続していく必要があるのです。内容は高齢者医療制度の見直しと国庫補助割合の引き上げです。

社会制度改革国民会議の答申が先日提出されました。内容は「国民皆保険」を維持するために必要な観点から述べられており、かなりの負担増を伴うものとなっています。とはいえ、個々の事情はありますが収入に則した負担をしてもらいたい。しかし、忘れてならないのは増え続ける医療費をどのように抑制するかです。健診を受け早期発見・早期治療の実践、異常値が見つかったら早期に医療機関で再検査を受ける。ジェネリック医薬品に変更する。頻回受診・重複受診を避ける。等々、ちょっとした行動変容で改善できるものも多くあるのです。社会保障には自助・共助・公助があります。財政が厳しい中一人ひとりが自助努力をすることにより、この素晴らしい「国民皆保険」を維持していきたい。協会けんぽはこの精神にのっとり、保険者機能を発揮すべくこれからも邁進していきます。



第 789 回 広島サンブラザ 2013年9月9日

会長時間



卓話

瀬戸内海汽船株式会社 代表取締役会長 仁田 一也 様



第 790 回 広島サンブラザ 2013年9月30日

会長時間



卓話

元NHK 広島放送局 キャスター 丸子 ようこ 様





第791回 広島サンブラザ 2013年10月7日

卓 話

会長時間

10月は職業奉仕月間。 「職業奉仕」について

奉仕プロジェクト理事・委員長 渡邊 英晶

今年度 RI テーマ
「ロータリーを実践し
みんなに豊かな人
生を」。

ロータリーで10月
は、私たちの奉仕の
職業奉仕を思い出す
ための月です。2013-
14年度 国際ロータ

リー RI 会長ロンバートン会長もこの10月の職業奉仕
月間に向けてコメントを発信しております。10月号の
ロータリーの友を読んでください。

ロータリークラブは寄付団体ではありません。ロー
タリーを通じて社会に向けてどのような奉仕活動が可
能か、またロータリーの価値は何か、を問われており
ます。実際、職業奉仕は頻繁に行う奉仕部門であるた
めに、私たちはそれが奉仕だとは常に意識していない
場合が多いですね。

各会員が従事されておられます仕事は社会に奉仕
する一つの手段です。それぞれの職業が社会のニー
ズを満たし、自分たちの務めを遂行することで、私
たちは地域や社会に貢献しています。

すべての職業を平等に評価し、クラブの中の職業分
類の制度によって、クラブが地域社会を反映するの
を確実にし、地域社会に十分な奉仕ができるようにな
ります。全会員が同じ職業の団体であってもそれぞれの
職域を生かした奉仕活動はできるとは思いますが、異
業職種の団体であるロータリークラブはそれぞれの職
業の経験や知識によって、よりニーズに優れた奉仕活
動ができます。ロータリーでは多様性が私たちの強み
です。

ここで、もう一度原点に帰りロータリークラブとは
何なのかを改めて考えていただきたいと思います。



2013学年度米山奨学生

ジェンジャラッサクン・ナラッタボン様

今日は、廿日市クラブでスピーチする機会をいただき、ありがとうございます。

私の日本での生活について、お聞きいただきたいと思っています。どうぞ、よろしく願いいたします。

留学のため、2010年に日本にやってきました。武蔵野音楽大学3年次に編入し、器楽学のピアノを専攻しました。入学当時は、西洋音楽を勉強するのに、なぜ日本なのかとよく聞かれました。やはり、クラシックという音楽はヨーロッパが伝統を持っているため、演奏家になりたい人たちの多くは、ヨーロッパに留学する傾向があるからだと思います。でも、私は、アジアで生まれましたので、どんなにクラシックを一生懸命学んでもヨーロッパ人には、かなわないだろうと思っていました。では、なぜ日本なのだろうとお思いですよ。

私は、3歳からタイでのヤマハ音楽教室でずっと音楽を習っていました。ヤマハ音楽教室は、日本で作られた音楽教育であり、幼い子どもにふさわしい音楽教育として、タイに広まりました。自分自身がヤマハで教育を受け、また講師としても、幼児音楽教育に携わりました。自分が生徒として習っている時は、難しい理論や練習ではなく、ただ音楽が楽しいと思える方法で、導入してもらいました。子どもにとっては楽しい音楽の世界にいただけで、幸せでした。やがて、あ！そうだ、こういう音楽の先生になりたいと思うようになり、音楽教育の道に進むことを決意しました。今、音楽メソッドはいろいろありますが、ヤマハの音楽教育は、最も独自のメソッドを持っていると思っています。

タイと日本は両国ともアジアであり、受け継いでいる伝統もよく似ていると感ずることがあります。このよ



うな経緯で、タイの子どもたちのため、ヤマハをはじめとする日本の音楽指導方法を学びたいと思い、日本に留学しようと決めました。



卓 話

公式訪問

ガバナー 沖田 哲義 様

RI 会長テーマ、同強調事項及び
沖田ガバナー信条

「ガバナー・メッセージ」より抜萃



第 1) RI テーマと会長強調事項

1 RI テーマ

ロン D・バートン RI 会長の掲げた RI テーマ
原文英語 ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES
公式日本語訳「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」

私の追加訳文「ロータリーを自分の中に取り込んで、皆さんの生き方を変えなさい。」

2 RI 会長強調事項

- ① 会員増強の推進
- ② ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実
- ③ ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの強化

第 2) RI テーマとガバナー信条等との関係

1 ガバナー信条

私は、ガバナー信条として、以下のものを掲げました。
奉仕活動を見直そう。
「新しい奉仕活動への挑戦」です。

2 運営の重点方針

- (1) RI の奉仕活動と R 財団の補助金活動の一元化
- (2) 未来の夢計画の確実な実行
- (3) 会員増強、併せて「SAKUJI 作戦」の遂行
- (4) 各クラブ及び地区の情報のデータベース化の研究とソーシャルメディアの活用
- (5) 地区大会を具体的なロータリー活動の研究発表の場とすること
- (6) 職業奉仕の研究の深化と啓蒙活動

3 運営の具体的目標

- (1) 会員増強です。
要するに、純増 1 名ということです。
- (2) SAKUJI 作戦の遂行
- (3) RI 会長賞への挑戦
- (4) ロータリー財団への支援
- (5) 米山記念奨学会支援
- (6) RI 人頭分担金について
- (7) 地区関係負担金について
- (8) RI 広報補助金の活用

第 3) 広島廿日市ロータリークラブの特色について

1 クラブ運営方針について

- (1) まず最初に会長テーマについて
- (2) 次に、具体的な活動方針について

2 組織面について

この点につきましては、会員数が 37 名という小規模のロータリークラブですから、実にうまく CLP を活用されていると思います。大変素晴らしいと思います。

3 活動面について

- (1) クラブ奉仕 (2) 職業奉仕 (3) 社会奉仕
- (4) 青少年奉仕 (5) 国際奉仕 (6) R 財団
- (7) 米山記念奨学会

卓 話

JA 広島総合病院
院長 藤本 吉範 様



卓話の泉

ロータリーの友 平成 24 年 9 月号より

鼻の老化

(医) 社団 森耳鼻咽喉科医院
理事長・院長 森 裕司

風邪のときにウイルスやばい菌が匂いを感じる嗅神経に侵入して麻痺を引き起こすことがあります。ほとんどは自然治癒しますが、老化に伴い回復力が弱くなり、嗅覚障害が残ってしまうことが多くなります。風邪の後、鼻づまりが治ってからも匂いが弱いと感じたら早めに耳鼻科を受診してください。さらに、食事中や朝起きがけに鼻水が出る症状も老化とともに強くなってきます。寒い冬に屋台でうどんなどをすすると鼻水が出ることと同じで、この温度や湿度の変化で鼻水が出る反射が、老化すると過敏になってくるためです。

今後の奉仕活動予定

- ◆ 2014 年 2 月 23 日 (日) 午前 9:00 ~
御手洗川清掃
- ◆ 2014 年 6 月 29 日 (日)
薬物乱用防止街頭キャンペーン